

PDCA × 3回で不登校の未然防止を

～点検・見直しの繰り返しによる取組の推進～

1 全国の不登校児童生徒の状況から

全国の「不登校児童生徒数（以下、不登校数）」を見ると、学年を追って雪だるま式に増え続けるような印象を受けます。一部の不登校児童生徒は学校復帰している事実があるにもかかわらず、単純に増え続けるように見えるのはなぜなのでしょう。

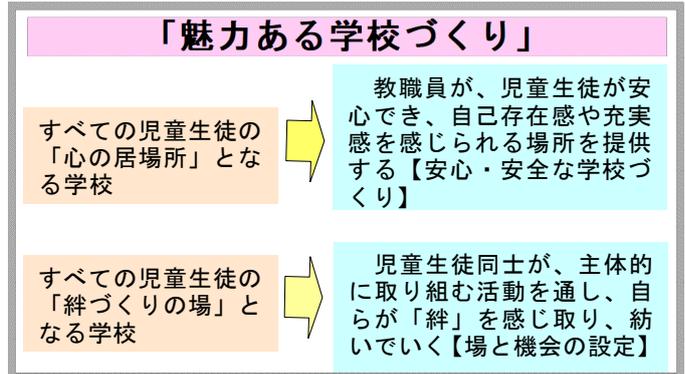
そうした現状を的確に把握するためには、不登校数を「継続数（前年度も不登校であった児童生徒の数）」と「新規数（前年度は不登校ではなかった児童生徒の数）」とに分けて、考えてみる必要があります。

このように分けることで、不登校数が学年を追って増え続けるのは、不登校状態が解消される児童生徒がいる一方で、それを上回る数の不登校児童生徒が新たに出現しているためであることが確認されました。（生徒指導リーフ Leaf.22）

この新規不登校児童生徒数を減らすためには、「魅力ある学校づくり」に取り組むとともに、生徒指導のPDCAサイクルを3回繰り返して機能させることが効果的です。

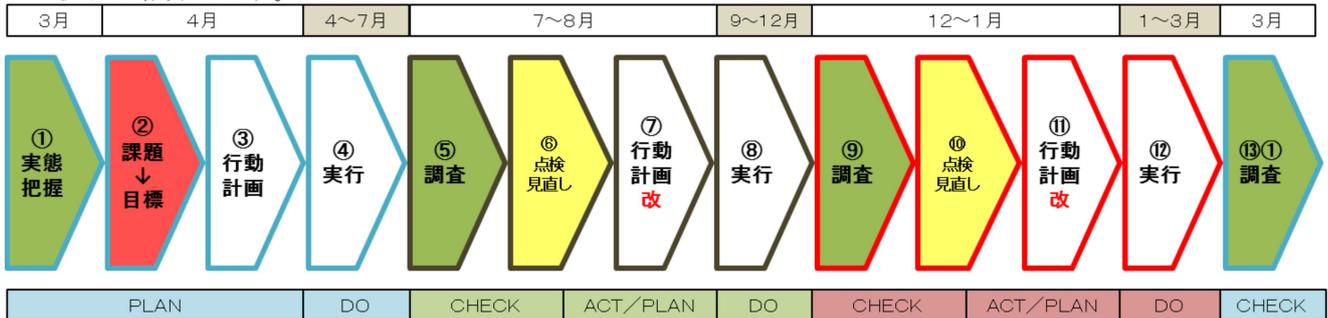
2 「魅力ある学校づくり」に取り組む

「魅力ある学校づくり」を進めるために、「居場所づくり」と「絆づくり」を理解し、学校生活の大半を占める授業時間を中心に、教育活動全体を通じて、意図的に取り組む必要があります。



3 「生徒指導のPDCAサイクルを3回繰り返す」

魅力ある学校をつくるためには、児童生徒が学校生活をどう感じているのかを把握する必要があります。国立教育政策研究所がまとめた第Ⅲ期「魅力ある学校づくり調査研究事業」の報告書には、下図のようにPDCAサイクルを1年で3回繰り返すことで不登校児童生徒数の減少に効果があることが示されています。下図の番号を基に流れを紹介します。



- ①②：児童生徒を対象とした意識調査による実態把握から課題を分析し、目標を設定します。その際、意識調査用紙等は、第Ⅲ期「魅力ある学校づくり調査研究事業」の報告書を参考にします。
- ③④：「居場所づくり」と「絆づくり」の取組を生かし、授業改善等の計画を全職員で実行します。
- ⑤⑥：7月に再度意識調査を実施し、夏季休業中に取組の点検を行います。その際、1学期に効果を上げた取組を共有し次につなげます。効果が上がらなかった取組については、課題分析は正しかったか、目標設定は具体的であったか、行動計画の策定過程に問題はなかったかなどの視点で見直します。
- ⑦⑧：計画を修正し、2学期に再び全職員で実行します。
- ⑨⑩：調査実施後、冬季休業中に点検、見直しをします。
- ⑪⑫：3学期に再び全職員で計画を実行します。

第Ⅲ期「魅力ある学校づくり調査研究事業」
 (国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センターHP)
http://www.nier.go.jp/04_kenkyu_annai/div09-shido.html

4 PDCAサイクルを繰り返す効果

第Ⅲ期「魅力ある学校づくり調査研究事業」の実践校であるA中学校では、実践校共通の意識調査から課題を絞り、目標を設定しました。全職員が意識して、生徒の自己有用感を高める取組や授業改善に取り組み、長期休業中に再調査や点検・見直し等を行いながら、生徒指導のPDCAサイクルを年3回繰り返して機能させた結果、多くの生徒の意識に変化が見られました。年度末には項目ウの肯定的評価が全体で88%（当てはまる50%、どちらかといえば当てはまる38%）に達し、不登校生徒数は前年度の19名から14名に減少しました。また、「教職員の連携の深まり」や「教職員の意識の向上」などの成果が見られたことも報告されています。

1	3月① 児童生徒意識調査 当てはまる	4～7月②③④ 改善の取組
回	ア「学校が楽しい」 58%	「主体的に取り組む姿の再定義付け」
目	イ「みんなで何かをするのは楽しい」 67%	「自己有用感を高めるための認め合う場面と学び合う場面の充実」
	ウ「授業に主体的に取り組んでいる」 28%	「振り返りの充実」
	エ「授業がよく分かる」 15%	
2	7～8月⑤⑥⑦ 児童生徒意識調査 当てはまる	9～12月⑧ 効果1 全職員で協議。個々の職員の思い込みや認識のずれが修正された。
回	ウ「授業に主体的に取り組んでいる」 40%	
目	エ「授業がよく分かる」 27%	
3	12～1月⑨⑩⑪ 児童生徒意識調査 当てはまる	1～3月⑫ 効果2 全職員の共通理解が進み、実践が効果的に行われた。
回	ウ「授業に主体的に取り組んでいる」 46%	
目	エ「授業がよく分かる」 30%	
	3月⑬ 児童生徒意識調査 当てはまる	
	ウ「授業に主体的に取り組んでいる」 50%	
	エ「授業がよく分かる」 39%	

【A中学校（在籍数723名）の実践例】